2024年8月1日

各　位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2024年　7月度　売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	121.3
阪神梅田本店	105.9
支店計	108.2
全店計	115.0

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

○ 全店の概況

- 関西では上旬から猛暑日が多く、都心店を中心に盛夏ﾌｧｯｼｮﾝが堅調に推移。ｾｰﾙの縮小傾向を定価商材の伸長でｶﾊﾞｰし、全店売上高は前年を上回る結果。中でも、免税売上高の伸長もあり阪急本店と博多阪急の売上高は前年に対して約2割増と全体を牽引。
- お中元商戦については、気温の本格的な上昇もあってかﾋﾞｰﾙやそうめんなどが堅調も、洋菓子の苦戦傾向に加え、一部果物の不作の影響で送料込みの産地直送ｷﾞﾌﾄの早期品切れが発生するなどもあり、全体的な売上は前年実績を少し下回る水準で推移。
- 免税売上高は前年に対して約2.1倍、阪急本店も約2.1倍と引き続き好調で、同月の売上高では14ヶ月連続で過去最高を更新。

○ 阪急本店の概況

- 今月もｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞのお客様による売上の押し上げ効果もあり、服飾雑貨、化粧品、ﾗｸﾞｼﾞｭｱﾘｰｶﾃｺﾞﾘｰの売上高は前年に対し2割を上回る高い伸びを示した。中でもﾊﾞｯｸﾞ、ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙﾌｧｯｼｮﾝ、宝飾品、時計の売上高は前年の3割を上回る伸長率で牽引。盛夏の実需ｱｲﾃﾑとして婦人服ではﾄﾞﾚｽやｶｯﾄｿｰ、服飾雑貨ではｻﾝﾀﾞﾙ、ｻﾝｸﾞﾗｽが好調。ゆかたも今月に入りﾆｰｽﾞがさらに高まり、7月の売上高は前年に対して約2割増の結果。
- 婦人服において、夏の定価商材の販売強化を目指し、盛夏ｱｲﾃﾑの足し込み、ｽﾀｲﾘﾝｸﾞの打ち出し強化ならびにｸﾘｱﾗﾝｽ開始日を19日へ後ろ倒ししたことで、定価商材が2割を上回る伸びで全体売上を牽引、計画も上回った。
- 人気催事「ﾊﾜｲﾌｪｱ」を開催。連日、ﾌﾗやﾄｰｸｼｮｰ、ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟなどのｲﾍﾞﾝﾄを多数開催。10回目を迎え展開商材の充実に加えて、現地からの招聘者数は海外催事の中でも最大級で、お客様がｼｮｯﾌﾟｵｰﾅｰやｱｰﾃｨｽﾄなどと交流を楽しまれる様子が各所で見受けられた。期間中、多くのお客様でにぎわいを見せ、過去最高売上を更新。
- 100万円以上の高額品の売上高は、前年の約5割増と引き続き高い伸びを示した。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2023年度									2024年度			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
阪急本店	115.9	125.9	126.1	116.7	116.1	115.1	120.2	132.0	130.0	129.6	146.1	137.7	121.3
阪神梅田本店	118.0	133.5	158.3	104.4	150.0	111.9	117.6	119.1	107.0	105.8	108.8	109.2	105.9
支店計	114.9	118.4	116.3	110.8	112.0	108.5	110.0	115.5	111.4	110.4	112.0	116.7	108.2
全店計	115.8	123.8	126.3	113.2	118.0	112.3	116.0	124.5	119.9	119.9	129.1	127.1	115.0

■ 食品事業

イズミヤ・阪急オアシス	売上高前年比(%)
全店計	99.0

関西スーパーマーケット	売上高前年比(%)
全店計	99.8

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社　メディアリレーション部　TEL:06-6367-3181